

倒さない
イ美

倒したら大変!



水稻用倒状軽減剤

クミアイ

ロミカ®

粒剤

®は住友化学(株)の登録商標



登録番号 第17816号

有効成分：ウニコナゾールP……0.04% 人畜毒性：普通物

ロミカ粒剤とは

ロミカ粒剤の有効成分であるウニコナゾールPは植物ホルモン(ジベレリン)の生合成を阻害することにより、植物細胞の縦方向への伸長を抑制します。有効成分のこのような作用により、ロミカ粒剤を処理したイネは節間伸長が抑制され倒伏に対する抵抗性が高まります。

なおロミカ粒剤は倒伏防止剤ではないので、イネの倒伏を防止するための耕種的な諸施策を補完する剤として使用して下さい。

ロミカ粒剤の使用基準

作物名	使用目的	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数*	使用方法
水稲	節間短縮による 倒伏軽減	出穂 25～10日前	2～3kg	1回	湛水散布

*ウニコナゾールPを含む農薬の総使用回数：2回以内(種子浸漬は1回以内、本田では1回以内)

ロミカ粒剤の特長

1. 倒伏軽減効果に優れています。

本剤は主に上位節間に作用することにより、稈長を短縮し、優れた倒伏軽減効果を示します。倒伏が軽減されることにより、品質の向上、収量の安定ならびに収穫作業の能率化が得られます。

2. 倒伏予測可能な時期に処理できます。

本剤の処理時期は、倒伏診断のある程度可能な出穂25～10日前に設定されているので必要に応じた使用ができます。

3. 処理時期の幅が広く、作業に余裕が持てます。

本剤の処理時期の幅は16日間あり、散布日の選定に余裕が持てます。

■使用上の注意事項

- (1) 散布に当っては水の出入りを止め、3～5cmの水深を保ち、散布むらのないように田面に均一に散布してください。散布後少なくとも7日間は落水やかけ流しはしないでください。
- (2) 本剤を黒ぼく土壌の水田で使用する場合は効果が十分に発揮されないことがあるので注意してください。
- (3) 重複散布や多量散布は、効果が強すぎたり、後作物に影響する場合がありますので使用量を厳守してください。

- (4) 本剤を使用した水田の土壌を野菜類の育苗用床土に使用することは避けてください。
- (5) 本剤の使用に当っては、土壌の条件や水管理などの栽培管理により、効果が変動する場合がありますので、使用量、使用方法については、あらかじめ病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- (6) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また、粉末を吸い込んだり、浴びたりしないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

●ラベルをよく読む。●記載以外には使用しない。●小児の手の届く所には置かない。●防除日誌に記帳しましょう。